

3. 単位の認定と成績評価

講義および演習科目の場合は全授業回数の3分の2以上、実習科目は5分の4以上出席した場合に成績評価の対象になる。各授業科目の評価と単位認定は、定期試験やレポート、実技試験などによるが、詳しくはシラバスの成績評価の方法で確認すること。

成績の評価は以下のとおりだが、定期再試験および卒業再試験による成績評価は、合格「C」と不合格「D」のみである。

合 格				不 合 格	認 定 不 可
S	A	B	C	D	F
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点	

所定の在学期間の終了時に、必修科目が不合格となった場合、あるいは出席不足や履修登録の不備等の理由により受験資格を喪失するなど、卒業に要する単位に満たなかった場合は、卒業が認定されず、留年となる（在籍期間は4年が限度）。

(注) 実習の評価について

「介護実習」の施設実習において再実習となった場合、その評価は、「C」又は「D」のいずれかである。

4. 総合成績評価（グレードポイントの平均「G P A」）

各授業の成績評価に対してグレードポイント（G P）を設定し、不合格や認定不可（欠席超過など）を含めて履修登録した授業科目のグレードポイントの平均（G P A）を算出し、総合成績評価を示す。

このG P Aによる総合成績評価は、シラバスに示す各授業科目の授業目的や到達目標に対して、どの程度のレベルで単位を修得したかを一目でわかるように数値で表すものである。そのため、履修登録時には履修計画を十分に練って学修努力をしなければならない。

総合成績評価は学期ごとによるものと通算によるものを示すので、主体的に学修を進めていくための指標として活用することを期待する。また、進学や就職に際して、学力を証明する指標としても国内外に通用する制度であり、奨学金の採用や継続時などに参考資料としても活用される。

G P Aの算出方法等については以下のとおりである。

①成績評価に対するG P

判定	合 格				不 合 格	認 定 不 可
評価	S	A	B	C	D	F
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0	0.0

②G P Aの算出対象科目と除外科目

G P Aの算出は、本学福祉学科で開講される全授業科目を対象とするが、他大学等で修得した授業科目は除外する。

③G P Aの算出方法（計算式）

$$G P A = \frac{[(S \text{ 修得単位数} \times 4.0) + (A \text{ 修得単位数} \times 3.0) + (B \text{ 修得単位数} \times 2.0) + (C \text{ 修得単位数} \times 1.0)]}{\text{履修登録した科目の総単位数 (D・F評価を含む)}}$$